

体力の続く限り働きたい

吉田 常夫 さん(天下町)



私は、約26年間同和鉱業にお世話になり、55年8月に退職しました。翌年の春友人からシルバー人材センターのあることを聞き、さっそく会員に加えていただきました。それから2年余り、たくさんの仕事をお世

話していただいているいろいろな仕事を覚えることができたし、友人を得ることができました。毎日がほんとうに楽しくて人生の生きがいの場として働かせていただいています。これからも市民の手や足となり、体力の続く限り働きたいと思ひます。

健康で働けることが幸せ

渡辺 智加子 さん(東台5丁目)

健康で幸福な高齢生活を——だれもが望むことです。

私の第二の仕事はシルバー人材センターに入会したことで始まりました。明治、大正、昭和と激動の世の中を生きぬいてきた種々の職業の方々との出会いで、改めて働く楽しさと尊さを教えられました。月2～3日の仕事ですが、楽しみにしています。ともすれば社会から孤立しがちな年齢ですが、センターに入会したことで、まだまだ私にもできることがあると思うと健康で働けることの幸せを改めて感謝しています。

3年目を迎えた
シルバー人材センター

～会員も仕事も2倍増に～



▲種苗交換会で好評を得た秋田犬の木彫り

高齢者の「生きがい・健康増進・収入・仲間づくり」を目的とした「社団法人大館市シルバー人材センター」は、今年十月で満三年を迎えました。この間、会員数や仕事の受託件数は二倍に増えており、会員たちは、ますますハッキリ仕事に励んでいます。

高齢者の豊かな

経験と能力を

生かしてま

高齢者の豊かな経験や能力を生かして、自らの生きがいや健康を高めるとともに社会に貢献しようとして、五十五年十月秋田県内で初めての高齢者事業団が設立されました。そして、同年十二月には「社団法人大館市シルバー人材センター」と名称を改めました。当初二百十人でスタートした会員は、今年十月には三百九十人にもなりました。また、センターを利用する方からは「仕事が良心的でいい」「どんな細かい仕事でもやってくれる」など、好評を得ており、仕事の依頼件数も年々増え続けています。

仕事の内容は、当初大工仕事や事務の補助、冬囲い、雪おろしなど比較的簡単なものが多かったのが、年々多様化し、高度な技術が

シルバー人材センター3年間の実績

年度別	会員数	受託件数	就労人員	契約金額
56年度	314人	1,064件	6,155人	2,306万円
57年度	347人	2,045件	13,017人	5,267万円
58年度 (4月～10月)	390人	1,606件	10,303人	4,080万円

求められるようになってきました。このため、センターでは、毎年石油ストーブ・自転車の分解修理、庭木のせんてい、ふすま・障子の張り替え、屋根の塗装などの技術講習会を開き、技術の向上を図っているほか、今年の種苗交換会で好評を得た秋田犬の木彫りの製作など新しい仕事の開発にも意欲的に取り組んでいます。

会員を募集しています

自分の経験や能力を生かして働きたいと考えている方で、六十歳以上の方ならどなたでも会員になれます。

どんな仕事でもご相談を

大工仕事、冬囲い、筆耕、雪おろし、子守り、ポスター張り、老人介護など、どんな小さな仕事でも結構です。ご連絡ください。

◆会員になりたい方、または仕事のご依頼は、社団法人大館市シルバー人材センターへ

☎ 49-4088

市長の
対話ノート

No. 80

師走と選挙

統一地方選にはじまり、参議院選挙そして文字通り十二月のしめに、総選挙と、選挙年ともいふべき年でした。「話し合い解散」か「ロッキード解散」か知りませんが、政治倫理が最大争点として問われていることだけは見失ってはなりません。

陳情、請願権、直接請求権は民主主義の原理からして、どこまでも守り発展させなければなりません。しかし、このことを逆手にとって、リベトを含めた利益誘導し、選挙に金がかかり過ぎるといって、これを正当化し、金権選挙で社会を腐敗化し、政治不信を増幅し、国民の目を政治から遊離しておきながら、国民の権利をゆがめて行く、こんなパターンを許してよいかが問われているのです。

政治は、国会や県議会、市議会だけにあるものではありません。一人ひとりの市民の毎日の生活と職場の中にあるのです。くらしと仕事の最も身近な問題を解決する最も手近な手段が選挙であり、政治であるからです。

ここから目を奪はれたり、関心を失ったのでは、民主主義を捨て、再び暗黒社会への逆行を許すことになるのではないでしようか。誰にも気がねすることなく、堂々と権利を行使し、いのちと暮しを守り発展させましょう。

伊山健治郎